

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

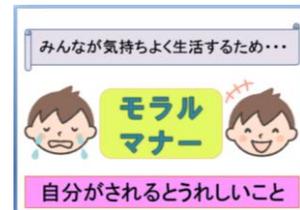
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 広島県 】

| | |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ | 【 II 】 |
| 2 実施対象者 | 福山市立加茂小学校 全校児童650名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 行事名 (学校朝会) ② その他 (委員会活動) |
| 4 目標 (ねらい) | 朝会や委員会活動を通して、オリンピック、パラリンピックの精神を学び、スポーツの意義や価値に対する関心の向上、障がい者理解、国際理解、ボランティア精神の育成を図るとともに、他者を思いやる気持ちを育てる。 |
| 5 取組内容 | <p>(1) 学校朝会 毎月1度、「おもてなし」をキーワードに、オリンピックを絡めた話をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○10月・・・㊦もいやり ○11月・・・㊧ラル、マナー ○12月・・・㊨をつなごう（国際理解） ○ 1月・・・㊩かよく暮らそう（共生社会） ○ 2月・・・㊪あわせな社会をつくる私 <p>【10月のテーマ：おもいやり】 2020年に東京大会で何が行われるか問い、オリンピックについてクイズをしていく中で、2年後に外国から来るたくさんの人をおもてなしするということを伝えた。次に、生活の中にあふれている「おもいやり」（動く廊下、車いす用の自動販売機、ヘルプマークなど）を写真で提示し、クイズ形式で、何が思いやりかを考えた。さらに、加茂小学校で見つけた「おもいやり」を紹介した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>オリパラ クイズ Q5 2020年東京大会で追加された競技はこの中でどれ？</p>  <p>A. すべて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①野球・ソフトボール ②空手 ③サーフィン ④スケートボード ⑤スポーツクライミング </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思いやりのある社会へ どこに思いやりがあるでしょう？</p>  <p>A. 車いすの人 も買いやすい</p> </div> </div> |

【11月のテーマ：モラル、マナー】

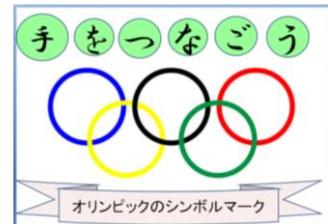
オリパラクイズを行った後に、平昌五輪スピードスケート日本代表の小平奈緒選手のエピソード（とても良い記録を出し、観客の興奮が静まらなかった際に、次の選手が競技に集中できるようにするために、静かにするようにお願いするしぐさをした。）を紹介した。児童は、相手のことを考えたマナーについて考えた。さらに、加茂小学校で見つけた良いマナーを紹介した。



【12月のテーマ：手をつなごう】

オリパラクイズを行い興味付けをした。次に、オリンピックを生んだピエールドクーベルタンの話をし、さらに五輪マークの意味について考えた。

さらに、「世界がもし100人の村だったら」の読み聞かせをした。



(2) 委員会活動（6年生）

○掲示委員会

朝会で行ったオリパラ教育に合わせて、掲示物を作り全校に呼びかけた。

○給食委員会

給食放送でオリパラクイズを行った。



(3) 元サッカー日本代表 福田正博さん 講演会

【事前】

- 福田正博さんについて調べたことを紹介する掲示物を製作。(掲示委員会)
- 「おもてなし」をキーワードに福田さんとの交流会を企画。(児童会)
- 福田さんの経歴について知る。(全校児童)

【当日】

- 「夢とチャレンジ」について講演。(全校児童)
- サッカーの実技指導。(6年生)



【事後】

- お礼の手紙や学んだことを作文に書いた。(全校児童)

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>6 主な成果</p> | <p>○ 月に1度の学校朝会でのオリパラ教育や、掲示委員会が作成した掲示物、放送委員会によるオリパラクイズなどにより、オリンピック・パラリンピックを身近に感じ、興味・関心をもつ児童が増えた。</p> <p>○ 福田正博さんの講演で、フェアプレーの大切さや、素直な気持ちをもつこと、夢をもってチャレンジをすることなど話していただいた。児童の生活にも置き換えて話していただき、全員がとても熱心に話を聞いていた。講演後の振り返りでは、自分の夢について改めて考えたり、相手の悪い所ではなく良い所を見るようにしようと考えたりする児童が多かった。</p> <p>[児童の感想より（一部抜粋）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくが福田さんの話で心に残ったことは、「人の良いところは見ようとなしないと見えない」ということです。今まで友達の悪いところを見てすぐに注意していたけど、これからは、友達の良い所をたくさん見つけていくようにしたいです。 ・私は福田さんの「何か目標をもつことが大切」という言葉を聞いて、何を目標にするか考えてみようと思いました。私は将来の夢はまだないけれど、よく考えて決めたいと思いました。 |
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <p>○ 学校朝会では、本校の児童の実態に沿って、養いたい倫理観を含めた話やオリパラクイズをスライドを用いて行った。「おもてなし」を大テーマとし、毎月、小テーマ（10月：おもいやり、11月：モラル・マナー、12月：手を繋ごう[国際理解]、1月：なかよく[共生社会]2月：しあわせな社会）の話をする。毎月、定期的にオリパラ教育を行うことで、児童の関心を高めていくようにした。</p> <p>○ 福田正博さんとの交流会は児童会の児童が主体となり、企画・進行をした。児童あいさつやプレゼント準備、掲示物作成等「おもてなし」をキーワードに交流会を行った。</p> |
| <p>8主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● オリリンピック・パラリンピック教育を教科、領域にどのように位置付けていくか考え、計画的に実践していく必要がある。 ● 活動を充実させていくためには、全教員がオリンピック・パラリンピック教育についてさらに研修を行い、協力体制を整え、継続的に行う必要がある。 |
| <p>9来年度以降 の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は教員が主体で企画を進めていったが、来年度は児童が主体となって「おもてなしの会」を計画できるようにする。 ・ 各教科、領域において、学年ごとにオリンピック・パラリンピック教育を授業の中で計画していく。 |